



## 平成21年度入学生 おめでとう

# 学び、考え、また学び 飛翔の舞台に立とう

平成21年度の入学式が4月4日、本校体育館で行われ、新入生316人(情報文化学科125人、情報システム学科191人)が大きな希望に胸を膨らませ、みずき野キャンパスでの学生生活をスタートさせました。

一人ひとり名前を呼ばれ緊張の面持ちで起立した新入生を前に、平山征夫学長が式辞で「本学を舞台に選んだ皆さんが主役です。自由に思いっきり踊れる舞台を用意します。自立した人間として飛翔するために、学び、考え、また学ぶことを繰り返して、考える力をつけてください」と激励しました。

引き続き武藤輝一理事長が「青春真っただ中の実り多き学生生活を謳歌し、人間性豊かで温かい心を持った社会人に成長することを期待しています」と祝辞を贈りました。

また、在校生を代表して情報システム学科3年の岩城亮利さんが「ただ座して待つことなく自ら行動し、勉学にいそしみ友達と遊び充実した大学生活を」と歓迎の言葉を述べました。

これに対し、新入生を代表して情報文化学科の菅井光代さんが「ますますグローバル化が進む国際問題を学び、何事にも積極的に取り組み、人間としても成長できるよう精進していきたいと思います」と力強く抱負を述べました。

式典では本学と派遣留学・海外夏期セミナーを提携している極東国立総合大学(ロシア)、北京師範大学(中国)、慶熙大学(韓国)、ノースウェスト・ミズーリ州立大学(アメリカ)、アルバータ州立大学(カナダ)の5大学からの祝福ビデオメッセージも披露されました。

新入生たちは、ほころび始めた校庭の桜の下で各サークルの勧誘めに合い、早速ガイダンスに臨んで学園生活の一步踏み出していました。

## CONTENTS

## 2・3面

## 入学式特集

学長式辞 理事長祝辞  
在校生代表・歓迎の言葉  
新入生代表・私の抱負

## 4・5面

新年度を迎えて新入生、在校生を激励  
学部長、学生部長、情報センター長  
渡辺 忠教授(初代学生部長)が死去  
退任教員あいさつ(赤木教授)  
新任教員紹介2人 湧源  
現代GP・平成20年度の取り組み

## 6・7面

平成20年度主な就職先一覧  
学内で合同企業説明会  
留学体験学生が国際交流フェア  
派遣留学・夏期セミナー帰国報告会

## 8面

47人に資格取得奨学金を授与

## オープンキャンパス案内

平成22年度入試概要・奨学金制度

## 9面～12面

平成20年度卒業式特集  
卒業生思い出のこと  
JABEE認定21人に修了証書  
12人を特別表彰



## 入学式

## 学長式辞

新潟国際情報大学学長  
平山 征夫

## 考える力を身に付け

## 夢を大きく描き育てよ

新入生の皆さん、入学おめでとう。本学への入学をお祝い申しあげますとともに、皆さまを心から歓迎申しあげます。

新潟国際情報大学は本日ここに第16回目の入学式を迎え、今年も皆さんのような澁刺とした新入生を迎えることができましたことは、私ども本学関係者・教職員にとりまして何よりの喜びであります。

今日のこの式を新入生の皆さんは大きな喜びで迎えられたことでしょう。その喜びはご同席のご父母の皆さまにとりましても同様のものと存じます。そして皆さんはこれからの大学生活に対する期待で胸がいっぱいのことと思います。本学の役員、教職員一同そうした期待に応えるべく全力でこれからの皆さんの大学生活を支援してまいります。

本年、本学に入学された皆さんは、情報化学科125名、情報システム学科191名、合わせて316名です。本学では平成6年春の開学以来、15年間で3532名の卒業生を社会に送り出しました。卒業生の多くは新潟県内を中心に実社会で活躍中であります。それは本学の創立の理念であります「わが国の社会、文化についての認識と理解を基礎に、国際化、情報化の社会の中で役立ち、

能力があり、意欲があり、人間性豊かな人物を育成する」という目的が果たされつつあることでもあると喜んでおります。

昨年、本学の大学祭の講演にいられた作家の宮尾登美子さんは、私に「若々しい大学の若々しい学長さん、がんばれ」という言葉を残してくれました。私が若いかどうかは宮尾さんとの相対的な関係ですが、創立16年という本学が若いことは間違いないことです。それは、この大学の伝統はまだ創り上げている途上にあるということです。どうかこれまで先輩たちが築いてきた良き伝統を引き継ぎ、さらにこれに磨きをかけてください。

皆さんは大学という高等教育を受ける場を本学に定められたわけです。それは本学の開学の理念に賛同し、何らかの魅力を感じて選ばれたことと思いますが、同時にそれは自らが自立に向かって踊るステージを選んだという

## 祝辞

学校法人 新潟平成学院理事長  
武藤 輝一青春真つただ中を謳歌  
実り多き学園生活を

新入生の皆さん、本日はご入学おめでとうございます。

本日は元氣澁刺として前途有為の316名の皆さんを目の前に、新潟国際情報大学の設置母体であります新潟平成学院の理事・評議

ことであります。どう踊るか先生方のアドバイスを受けながら皆さん自身が学びながら決めるのです。そのことをまず自覚してください。踊り方も高校までと違って、お師匠の踊り方を見て真似をするという学びの段階から、自分にしかない踊りを考え始めるのが大学です。それは自立のための飛翔する力を身につけることです。そのためには、大いに勉強してください。大学時代に学んだことは、必ず人生のどこかで幾つになっても飛ぶ力として役立ちます。

私自身のことで恐縮ですが、私は第1志望の大学受験に失敗して、第2志望の大学に進みました。父は浪人しても良いと言ってくれましたが、私は大学で学べるのがうれしく、受験勉強を続けるより早く自分の好きな事を学びたいと思い、浪人はしませんでした。選んだ舞台は希望と違ったのですが、結果はそのことは全く問題ではありませんでした。むしろ生涯の師に巡り逢えましたし、選んだ経済学も興味深いものでした。高校までと全く違った学問の世界に夢になって勉強

員を代表して、心からお祝い申し上げます。青春の特徴は、「優れた想像力、逞しき意志、燃える情熱、怯懦を却ける勇猛心、安易を振り捨てる冒険心」にあるといわれていますが、青春の真つただ中にある皆さんには、ぜひともこの特徴を生かして、本学における実り多き学生生活としてください。

同時に、大学を卒業して一社会人として巣立つ前の在学中に「自ら求め、自ら行動し、自らの行動に責任を持つ」という自主性、自律性をしっかりと身につけてほしいのです。人生はまさに戻ることのない片道切符の旅であります。これからの一日一日を大切に、精いっぱい羽ばたいて、悔いのない充実した学生生活を送ってください。

皆さんが勉学に勤しみ、学生生活を謳歌し、人間性豊かで温かい心を持った社会人になる成長されますよう心から期待し、皆さんのご入学をお祝いし、励ます言葉とさせていただきます。

しました。その時学んだことが、その後私の人生の基礎としていつも支えてくれたことを知事を退任して初めて自覚しました。大切なことはどう学ぶかなのです。

舞台を本学に選んだ皆さんに、私ども教職員は最大限皆さんが自由に思い切り踊れる舞台を用意します。演出も照明も音楽も提供します。でも舞台で踊る主役は皆さんです。他人にはない自分しかできない舞を踊るための心構え、準備をしてください。

1980年代以降、世界の仕組みとなっていた市場経済は、金融資本主義の行き過ぎからバブルを生み、そしてはじけました。グローバル化で一つになった世界経済は、情報手段を駆使したヘッジファンドなど利益を求めて動きまわるマネーにより、サブプライムローン問題をきっかけにその根底を揺るがしかねない状況に遭遇してしまいました。今、我々はあらためて「儲けるためではなく、人間を幸福にするための資本主義」を求めていかなければならないところにいます。そのうえ、近年の地球規模の成長志向は、温暖化など地球環境問題を深刻化させています。

皆さんはこうした時代をこれから生き抜いていくわけです。それは決して生きやすい時代ではないでしょう。複雑・深刻化する現代のさまざまな課題をきちんと捉え、自らの考で判断し、自己責任の下で行動しなくてはなりません。問題を適確に捉え、正しいジャッジをするにはどうしたらよいでしょう。私の経験で申し上げれば、事柄の本質を見極め正しい答えを見出す「考える力」を身に付けるしかありません。

こうした「考える力」を身に付けるために、大学時代にきちんと学ぶことが大切です。皆さんが大学時代にしなければならぬ最も重要なことは学ぶことです。社会人になるまでに、「自立した人間」として考える力をこの大学で整えてください。それには専門的分野の深い知識とともに、幅広い知識を習得し、考える訓練を積み重ねてください。考える力は「学び、考え、また学ぶ」ことの繰り返しから身に付きます。この大学で大いに学び、考えてください。

今日から何事にも自らの意志を持って、自らの考え自らの意見を持ち、発言・行動してください。もちろん他の人の意見に耳を傾け、自らの意見と比較することも大切です。自己の確立と他の人との協調を調和させることが大切だからです。

そして、大学生時代は人生の「夢」を描く「青春」の時です。青春時代に描いた夢は人を大きく育ててくれます。しかしそれは、その夢に向かって最大限努力をするという前提があることを忘れてはなりません。

この大学でよき親友を得て、勉学だけでなくスポーツや文化などの倶楽部活動に青春を燃焼してください。青春を思い切り燃焼させることは、それが楽しいことであるばかりではなく、人間性形成にどんなに大きな意味があるか、自立するにつれ自覚するでしょう。

私は、学長として「この大学で人生で最も大切なことを学ぶことができた」と卒業後振り返り返す

## 歓迎の言葉



在学生代表 情報システム学科3年 岩城 堯利

## ただ座して待つことなく 多くのことを学びましょう

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。またご臨席いただきました多数のご父母の皆さま、おめでとうございます。皆さんの入学を、在学生一同、心から歓迎いたします。本学は、情報社会を先導しました国・地域・そして文化の違いを尊重し、国や地域を越えて人類の共存、共生に貢献するという教育理念のもとに、学生は学問、部活動、サークル

た時、思ってもらえるような大学にしたいと念願しています。それには皆さんの大学生活での積極的参加がその必要条件です。どうかそのためにも遠慮せずどしどし先生方におつかっていただくさい。私もいつでも皆さんの方々を向いて両手を広げて待っています。

弥彦を望む越後平野の真つただ中にあるこのキャンパスで、皆さんは豊かな自然の四季の変化に包まれて過ごすことでしょう。そのことは、他人を思いやる人間性を育む大きな力になるでしょう。人間が自然の中で生かされていることと、ご父母をはじめ多くの方たちが皆さんを支えてくれていることに謙虚に感謝しながら、大学生活を大いにエンジョイしてください。

勉学にいそしみ、学生生活を謳歌し、人間として成長されますよう心より期待し、私の皆さんへの歓迎の言葉といたします。

活動に積極的に参加し充実した大学生活を送っています。

皆さんは今日から始まる大学生活に、期待や不安などさまざまな思いを抱かれています。と思います。私もその一人でした。今でも、昨日のことのように思えます。

皆さんは大学に何を期待していますか？先進分野の研究、尊敬できる師との出会い、また心から信頼し合える友人との出会い、そして明るく楽しいキャンパスライフ。そのすべてが本学にはあります。

そこで皆さんはこれから4年間の大学生活を送られるわけですが、私は大学生活とは自己の判断で大きく左右されるものだ2年間の大学生活で実感しました。

ただ座して待つことで得られるものは、自ら行動して得たものより少ないのです。ぜひ皆さんには自ら能動的に動き、より多くのことを学び得ていただきたい。そしてこれからキャンパスライフの良し悪しは皆さんの姿勢次第で決まる、ということをお忘れしないでください。

私は皆さんに、これからの学生生活の中で身に付けていただきたいことが三つあります。

第1は先に述べた自分自身で考え物事を判断することです。大学は社会という嵐の前にあるひと時の静けさのようなもので、在学中にしっかりと自己判断能力を獲得することとは、これからの皆さんにとって大きな糧となることでしょう。

第2は、豊かな人間性を身に付けることです。近年叫ばれているモラルの低下は人間性の欠如によるところが大きいのではないのでしょうか。常に他人を気遣い、思いやり、何事にも素直な人物になってほしいと思います。

## 私の抱負



新入生代表 情報文化学科 菅井 光代

## 世界を学び語学力を磨き

## 人間としても成長したい

本日は、私たち新入生のために、このような素晴らしい入学式を挙げていただき、また激励の言葉をいただきありがとうございます。

現在、世界はますますグローバル化が進み、国家間のかかわりが強くなったことで、他国からの影響を受けやすくなってきました。最近では、アメリカから起きた金融情勢の悪化が、世界中の経済不況を引き起こしています。この不況は、いかに世界中の国が密接につながっているのかということを認識させてくれたのではないかと思います。そして、国同士の結びつきはこれからもっと重要になっていくことでしょう。

第3は、自分自身をきちんと管理することです。大学は、高校とは違い、さまざまな面で自由に決められることが多いのです。それは必ずしもメリットだけであるとは限りません。自己管理をしつかりして勉学にいそしみ、気晴らしに友達と遊ぶ、これが大学生活を充実したものにする一番の近道だと思います。

最後になりましたが、今日、皆さんが本学に入学されたことを心から祝い、またこれからの大学生活が皆さんにとって充実し楽しいものになることを願って、歓迎の言葉とさせていただきます。

ようこそ、新潟国際情報大学へ！

しかし、私は今、国際問題についての情報や知識がなく、世界というものも漠然としたイメージしかありません。ですから、本学の充実した教育環境の中で、国際問題について学んでいきたいと思います。特に、英語は以前から興味があったので、CEP等の授業が楽しみです。2年次後期の派遣留学もとても興味があるので、まずこの1年間でしっかりと語学力を磨き、留学によって自分の力を試したいと考えています。

また、本学で過ごす4年間では、何事にも積極的に取り組み、勉強面だけでなく、さまざまな活動に参加し、人間としても成長できるように精進していきたいと思います。

最後に、経験豊かな先生方からのご指導をいただき、常に学び続けることをお誓いし、私の抱負とさせていただきます。

## 祝電

新潟県知事

新潟市長

日本私立大学協会会長

セコム上信越(株)

代表取締役副会長

(株) リクルート

代表取締役社長

泉田 裕彦

篠田 昭

大沼 淳

野沢 慎吾

柏木 齊



2009年度を  
迎えて

# 最善のキャンパスライフに

情報文化学部 情報文化化学部 情報文化化学部 情報文化化学部

情報システム学科 教授

梶木 公一



新入生の皆さん、入学おめでとうございます。これから4年間の

の第一歩として、もう一度気持ちを新たに「何のために大学に行くのか」、すなわち「大学で学ぶ」意義についてしっかりと考えていただ

学生部長

情報文化化学部 教授

高橋 正樹



まずは学生部長および学生部の仕事を簡単に話しましょう。本

学においては、その主な仕事は学生の皆さんの授業以外の課外活動支援や、学生の福利厚生など生活一般についての環境整備をするところ

情報センター長

情報システム学科 教授

岸野 清孝



情報センターでは、情報関連の機器・システムと図書館を管理・運営しています。コンピューター室には約400台のパソコンが設置されており、100Mbpsの通信速度でインターネットに接続されています。図書館では書籍を閲覧する

きたいと思います。

もちろん、皆さんそれぞれの価値観は異なりますから、その答えは一つとは限りません。授業に出て必要

## 「学びの姿勢」が求められる

な単位をきちんと取ることも大切で、スポーツや課外活動に打ち込むことも大切です。その間にぜひ、知的興味や好奇心が持てる対象や分

す。お話したいことはたくさんありますが、その観点から、一つだけお話ししましょう。それは大学時代に、ぜひとも「課

## 課外活動に励んでください

外活動」に励んでくださいというところです。もちろん、勉学に励んでもらうのは当然ですが、勉強の合間にスポーツ部、文化部、学術研究部や

野を見つめ出すよう最善の努力をしてください。当然ながら、大学4年間は対象や分野に関するすべての知識やスキルを身につけること

はできません。基礎的な知識を得ること、その知識を拡大発展させていくやり方、手法を獲得すること、これらが「大学で学ぶ」意義である

同好会に入って、積極的に課外活動にも打ち込んでください。気に入った部がなければつくってください。あるいは、仲間とボランティア活動

をするのも大いに結構です。

これらの活動や友人との交流は、みなさんの大学生活を楽しいものにしてくれるばかりか、授業だけでは

寄せることが可能です。

大学では、授業に出席して知識を得ることが重要ですが、単に受動的に先生から教えてもらうだけでは駄目です。自主的にインターネットと

## 将来の自分へ投資しよう

された文献などの検索が簡単にできます。館内の蔵書(2008年3月末現在約9万5870冊)はパソコンで検索することができ、本学にない文献や資料は他の図書館から取り

本や論文などにより情報を収集し、問題を発見し、自分で解決策を考えることが要求されます。つまり、複雑に絡み合った諸事情の中から、物事のあるいは直面する問題の、実態

と私は考えます。

国際化や情報化の分野に限らず、一瞬たりとも留まることなく変化し続けている社会環境や情勢、知識や技術に対応して生きていくためには、社会に出て学ぶ続ける姿勢、すなわち「学びの姿勢」が求められます。

皆さんには若さの特権である可能性と時間がありますが、目的もなく無為に貴重な大学時代を浪費するようなく、皆さん自身が納得のいく学生生活を送られることを願っています。

十分に学ばない、直接の社会体験の機会を与え、多数の人との関係を営む方法を身につけてくれるでしょう。知識ばかりでなく、それを使う力が社会で大切になります。

人間は社会の中でしか生きていけない生き物ですから、社会の中で発揮する力をつけることは大学時代の重要な目的のひとつです。それはみなさんが社会に適応するためばかりではなく、より良い社会にしていくなめにも必要なものです。

や本質を的確に捉えて対処していく「問題発見能力」と「問題解決能力」を備えることです。

これはインターネットで調べた情報と一夜漬けでは身に付くものではなく、日々本を読み、考えることの積み重ねによる脳内への蓄積が効果を発揮し、備わっていくのです。いわば「将来の自分への投資」といえます。この能力を得るために、情報センターが大いにお役に立てることを期待します。

## 湧源

編集後記に代えて

広報委員長 澤口 晋一

これまで本学の広報は、個別の案件ごとにその都度対応していく「対応型広報」の手法をとり、広告はいったどこで何があるといったことを伝える「告知型広告」が主体であった。しかし、こうした手法では大学として肝心な部分——何が学べ、何が身につくのか、大学の雰囲気はどうなのか、さらに将来の自分は——といったことが伝わりにくだけでなく、社会に対しても大学の中身や活動が認知されにくいと思われる。

一方、「対応型広報」とは別に「戦略型広報」と呼ばれる手法がある。この手法は、将来のビジョンに基づいてある程度期間を設定し、総合的な視点に基づいて活動内容を設計し展開するものである。大学の現在から未来までを見通したうえでの広報展開といってもよい。こうした戦略型広報は、企業などでは普通にとられてきた手法であるが、これまで競争とは無縁の世界にあった大学業界では馴染みの薄い手法である。しかし、大学間競争が激しくなるにつれ、従来の対応型から戦略型広報に転換する大学も最近増えてきており、そうした傾向は例えば電車の吊広告一つにも表れてきている。山の手線などに見られる大学広告には、それ自身が体系的な情報発信媒体となっているものもある。

このようにみると、本学としても、そろそろ対応型広報から戦略型広報へと転換が必要時期にきているのではあるまいか。

ところで、私の広報委員長としての任期はあと1年である。戦略型広報は一委員会ですとめられる内容ではないので如何ともしがたいが、せめて戦術的な広報ぐらいはこの1年でやりとげたいものである。まずは、本学ホームページ、そして電車内の吊広告・新聞広告・駅構内のポスター、さらにオープンキャンパスと注目していただきたい。これまでとは何かが違っているはずである。

# 渡辺 忠教授が死去

初代学生部長 本学創成期の運営に尽力



本学の開学と同時に就任され、創成期の大学運営の確立に多大な貢献をされた渡辺忠教授が、卒業式直後の3月23日、31日のご定年を目前に亡くなられました。70歳。最終の平成20年度も病を押してなお、学生を熱心に指導され、その責任を果たされました。

渡辺先生は北海道大学理学部数学科卒。防衛大学理工学研究科電子工学専攻過程、上智大学大学院経済学研究科修士課程を修了。主な研究分野はオペレー

ションズ・リサーチ。平成6年に長年勤められた防衛庁（現防衛省）統合幕僚監部分析室長を退職され、同年4月に本学開学と同時に教授に就かれました。

初代の学生委員長（現学生部長職）に任命され、第1回生を率いて共に充実した学園生活の環境づくりに取り組まれ、課外活動の立ち上げや学園祭（紅翔祭）の実現にご尽力されました。その後も入試実施委員長、情報センター長などの要職を歴任され、誠実さと強い責任感で厚く信頼されていきました。

15年におよぶ教育は、熱い心を持って厳しさの中にも学生の将来を思う姿勢を貫かれまし

## 夢と志を失わずに 頑張っ

情報システム学科 教授 渡辺 忠

百年に一度の経済危機といわれ、企業は軒並み赤字を計上し、派遣切り・正社員の削減・内定取り消しなど深刻な状況に陥っています。卒業生諸君が無事に就職できるよう祈っています。不況の嵐の中へ船出する皆さんには厳しい現実が待っている

た。8年間にもおおよそ闘病生活でしたが、学生・教職員の前ではその苦労を微塵もお見せにならず、強いご意志を持って職務を遂行されました。

心からご冥福をお祈り申し上げます。（ご退職に当たり頂いていた寄稿を掲載します）

大学には開学時に着任しましたから、15年間勤めたことになりました。前半はともかく、後半の8年間は病気で4回の手術を受ける破目になってしまいました。聞くところによると私と同じ病気で21回も手術を受けた人もいるそうですから上には上があるものです。教職員の方々に大変ご迷惑をかけましたし、学生諸君にも休講や補講で迷惑をかけました。あらためて深くお詫び申し上げます。お陰さまでなんとかなることを全うすることができました。

今後は病気と付き合ひながら気ままに生きていこうと考えています。病気をしる気がついたことは「世の中には私より大きな苦痛を抱えている人がたくさんいる、それでも人間は何かしら希望や楽しみを見出して生きているものだ」ということです。どうか困難にぶつかっても深刻にならずに頑張っ

## NGOをやるにもあたります

## 大学の真価が問われる時代に

情報システム学科 教授 赤木 敏子



春めいて、佐潟の白鳥たちは北へ旅立ち始めました。重く垂れ込めたダークグレーの雪雲の下を、ある

は本学の真価が問われる時代に入ります。社会環境のみならず、大学を取り巻く情勢が厳しい中、教員は今までのように象牙の塔にこもって研究に専念していればよい時代ではなくなりま

た。教育力と人間力を磨き、授業時間以外にも学生のために、今まで以上に時間を費やしてほしいと思います。そして教職員一丸となって、知識力のみならず、人間力を身につけた学生を社会に送り出すことによって、多くの人々から評価してもらえるのではないのでしょうか。

私は、新たな世界に向かって旅立ちますが、しばらくは他大学との共同研究や茶道部の指導のために、本学にも時々伺わせていただきます。今まで同様、よろしく願っています。

最後に、新潟国際情報大学のますますの発展と皆さまのご健勝を祈念いたし、退職のご挨拶とさせていただきます。

## 白井 健二

情報システム学科 教授

モデリング数学  
オペレーションズ・リサーチ1  
シミュレーション、基礎演習、情報処理演習  
情報処理演習U1、専門演習、卒業研究  
金融工学、なかでもリアルオプションについての研究。  
不完美情報リアルオプションによる企業プロジェクト評価。  
1973年 立命館大学理工学部電気工学科卒  
75年 立命館大学大学院理工学研究科電気工学専攻修士課程修了  
同年 立石技術サービス株式会社  
92年 株式会社情報工務代表取締役社長  
2000年 博士（工学、立命館大学）学位取得（9月）  
08年 協和テクノロジ株式会社、支配人  
09年 新潟国際情報大学 情報文化学部 教授



## 新 任 教 員 紹 介

### 二瀬 由理

情報システム学科 准教授

統計と情報、生活統計、生活情報  
認知科学、情報処理演習  
専門演習B、卒業研究  
認知心理学、実験心理学  
人間の情報処理の側面（記憶や認知などの特性）について心理実験を行い分析。  
ユーザインタフェースも含め、人間の情報処理特性を活かしたシステムに関する研究。  
九州大学大学院文学研究科心理学専攻修士課程修了（学位取得）  
日本学術振興会特別研究員（PD、東北大学）  
2002年 福岡大学工学部電子情報工学科助手（2007年より助教）  
09年 新潟国際情報大学 情報文化学部 准教授



## 平成20年度の「国際交流インストラクター事業」

### 現代GP



## 正規の授業で58学生を養成 24小中高でワークショップ

本学では、大学生を国際交流インストラクターとして養成し、県内の小中学校・高校に派遣して、国際理解講座を実施する「国際交流インストラクター事業」を実施しています。これは、文部科学省の大学改革推進等補助金の一つ「現代的教育ニーズ取組支援プログラム（現代GP）」の助成を受けています。本事業の平成20年度の成果として、次の3点が挙げられます。

第1に、昨年度まで課外活動として実施していたインストラクターの養成を、今年度は正規の授業科目「国際交流インストラクター演習1」の中で実施したこと。この授業でインストラクターとしての知識と技術を学び、最終的に本学では58人の学生が国際交流インストラクターとして（財）新潟県国際交流協会から認証されました。

第2に、JICA（独立行政法人国際協力機構）のご協力、8月に東京で特別合宿研修を実施し、ワークショップの技術、そして国際社会・文化に対する理解を深めたこと。2泊3日の日程で、異文化理解、紛争転換、開発協力、地球環境問題などの幅広いテーマについて集中的に研修、学生には大変好評でした。

第3に、国内外のNGO団体などから招いた複数の講師による研修で得た知識と技術を、ワークショップに活かしました。来年度は、文部科学省による助成の最終年度となりますが、内容を一層充実させていきたいと考えています。



4月20日から  
国際交流フェア

# “留学”の成果を披露

28日からは新潟中央キャンパスでも

本年度当初の恒例行事となっている「国際交流フェア」が、4月20日から本校・国際交流センターで、28日から5月15日まで新潟市中心街の新潟中央キャンパスで開催されます。

本学の語学研修カリキュラムの柱となっている異文化交流・理解を目的とした、情報文化学科の「派遣留学」と情報システム学科の「海外夏期セミナー」に、前年度参加した学生が中心となって開催されるフェアで、提携大学のあるロシア、中国、韓国、アメリカ、カナダの5カ国での貴重な経験や、交流や勉学の成果、思い出の品々や写真、提携大学の紹介パネルなどが展示されます。

本校では25日まで学生ホールで、学生によるパフォーマンスが日替わりで披露されます。

このフェアを通じて、本学の国際交流活動を仲間の学生や広く地域の人たちに知っていただき、新潟と各国との国際交流の輪がますます広がってほしいと願っています。

(写真は昨年のフェアのスナップ)



アークランドサービス(株)  
アークランドサカモト(株)  
(株)アイエックスとさわテクノロジー  
(株)AOKIホールディングス  
(株)アクティオ  
味の素システムテクノ(株)  
(株)アミリ  
(株)飯田設計  
(株)イービーエム  
(株)岩波不動産  
(株)ウオロク  
(株)エスエフシー新潟  
NECソフト(株)  
(株)NS-コンピュータサービス  
(株)エヌサイト  
NTTデータカスタマサービス(株)  
(株)エヌ・ティ・エス  
(株)エヌ・ティ・エス エムイー  
大野精工(株)  
(株)オスボック  
医療法人社団小柳医院 老人保健施設  
楽楽  
カネ美食品(株)  
亀田製菓(株)  
加茂信用金庫  
関東信越国税局  
(株)キタカタ  
キヤノンシステムアンドサポート(株)  
(株)キュービット  
協栄信用組合  
(株)協振技建  
(株)クスリのアオキ  
警視庁  
警視庁  
(株)ココスジャパン  
(株)コダマ  
コニカミノルタNC(株)  
(株)コロナ  
コンピュータロン(株)  
(株)サイゼリヤ  
サイバーコム(株)  
(株)サカイ引越センター  
社会福祉法人坂井輪会 穂波の里

(株)サンケイ情報ファシリティ  
(株)サンソウシステムズ  
CEC新潟情報サービス(株)  
(株)シーキューブ  
JA越後さんとう  
JA越後中央  
JA越後ながおか  
JAにいがた南蒲  
JA新潟みらい  
(株)ジェイテック  
シマト工業(株)  
清水工業(株)  
(株)ジャパンネット  
シリウスグループ  
信越ペプシコーラ販売(株)  
シンコール(株)  
(株)すかいらく  
(株)スズキ自販新潟  
(株)スペースアルファシステム  
セコム上信越(株)  
(株)セントラル情報センター  
(株)総研システムズ  
双峰システム開発(株)  
ソーレホテルズアンドリゾート(株)  
(株)ソリマチ技研  
(株)大建建設  
(株)大光銀行  
(株)第四銀行  
太陽信用組合  
(株)高儀  
高野ガス(株)  
(株)タカコシ  
タクトシステムズ(株)  
ダムズグループ  
中越クリーンサービス(株)  
中越通運(株)  
(株)ディーアンドエムホールディングス  
東京コンピュータサービス(株)  
東芝ホームテクノ(株)  
TOTO新潟販売(株)  
(株)トッキー  
(株)トップカルチャー  
トヨタ部品新潟共販(株)

(株)トラステック  
鳥忠 本店  
(株)新潟オービックシステムエンジニアリング  
(株)新潟クボタ  
(株)新潟グランドホテル  
新潟県 警察行政  
新潟県花卉球根農業協同組合  
新潟県警察  
新潟県信用組合  
(株)新潟県農協電算センター  
(株)新潟ケンベイ  
新潟県民共済生活協同組合  
新潟県労働金庫  
新潟交通(株)  
新潟市 消防  
新潟酒販(株)  
新潟スバル自動車(株)  
新潟総合警備保障(株)  
新潟大栄信用組合  
新潟ダイヤモンド電子(株)  
新潟中央ホーム(株)  
新潟トヨタ自動車(株)  
新潟トヨペット(株)  
新潟日産モーター(株)  
(株)ニイガタマシテクノ  
新潟金鉄(株)  
新潟ヨコハマタイヤ(株)  
(株)新潟読売インフォメーションサービス  
日産プリンス新潟販売(株)  
日通商事(株)  
(株)ニッパンレンタール  
日本精機(株)  
日本通運(株)  
日本郵政グループ  
日本トイザラス(株)  
(株)日本ビジネス・サポート  
日本ベアリング(株)  
(株)ニューアサヒ  
(株)ニューメディア総研  
ネットトヨタ越後(株)  
(株)ハードオフコーポレーション  
ハイテックシステム(株)

(株)博進堂  
原信ナリスホールディングスグループ  
はるやま商事(株)  
(株)BSNアイネット  
東日本旅客鉄道(株)  
(株)ビコイ  
(株)ビット・エイ  
(株)ビップ  
藤木鉄工(株)  
藤田金属(株)  
ブリヂストンタイヤ新潟販売(株)  
(株)文武堂  
(株)北越ケース  
北越工業(株)  
(株)北都  
(株)ボストシステムズ  
(株)ホテルオークラ新潟  
(株)ホテル清風苑  
(株)ホテル泉慶  
(株)マックス  
(株)マルス  
(株)丸山自動車  
(株)マンションセンター  
(株)三城(メカネ・パブリキ)  
ミサワホームイング新潟(株)  
(株)ミタカ  
三星金属工業(株)  
源川医科器械(株)  
(株)みやけ食品  
(株)宮崎商店(富寿グループ)  
村上信用金庫  
(株)メビウス  
森井紙器工業(株)  
(株)山縣製作所  
(株)ヤマダ電機  
(株)吉運堂  
(株)よねー  
(株)ラネクシー  
(株)リオン・ドールコーポレーション  
(株)リンコーコーポレーション  
(株)レックス  
(株)レリアン  
(株)渡辺製作所

## 平成20年度卒業生 主な就職先一覽

# 就職戦線 来春の就職に向け 学内で合同企業説明会



恒例の学内を会場にした合同企業説明会が2月18、19の両日、本校体育館で開かれました。暖冬が一変した雪模様となりましたが、県内外の197社の人事担当者の参加をいただき、厳しい景気動向を背景にして熱気ある雰囲気となりました。

リクルートスーツ姿の学生たちは、まず大教室で説明を受け、早速会場の体育館へ。各企業のブースを回り担当者の説明を聞き、メモを取ったり質問を返したりと、例年にも増して積極的に取り組む姿勢が見られました。金融危機に伴う経済不況で来春の就職戦線も大変厳しいものが予測されますが、企業側の親切な対応に安心し、和やかな雰囲気にも包まれて談笑する場面もあり、学生たちの緊張感も解けていたようでした。

就職活動の本番に向け、まずは好調なスタートとなりました。

(写真は熱気に包まれた会場スナップ)

## 県内外から197社が参加



## 貴重な体験。大きな収穫

### 留学・海外セミナー・帰国報告会開催

派遣留学（情報文化学科）と海外夏期セミナー（情報システム学科）の平成20年度事業が無事終了し、恒例の帰国報告会と記念パーティーが1月15日、本校国際交流センターで行われました。

全員の無事帰国と留学体験の大きな収穫を平山学長、槻木学部長らがたたえて乾杯し、各コースの代表が貴重な体験と大きな成果を報告しました。世界から集まった留学生と友達になったこと、語学研修でスキルアップした能力を生かして進路を決めたいなどと、多くの思い出と将来への夢が語られました。

#### 〈中国コース〉

##### まだ現地で生活しているような



情報文化学科2年 稲波 みな子

文字を書くときや中国語で書いてしまい、トイレに行ったときや横断歩道を渡るときなど中国での生活がまだ抜けきれていない自分を感じるときがあります。それと同時に、たった4カ月の留学だったけど中国に染まっていたんだなあと感じます。

9月4日私は日本を出国し、北京に到着しました。北京師範大学の寮に着きフロントで入寮手続きをしているとき、初めて中国人同士が話す中国語を目の当たりにしました。すーっと早口で何を言っているのかまったく聞き取れず、びっくりして思わず笑ってしまったのを覚えています。私にとってはとても衝撃的で、こんな私でも中国語が聞き取れるようになる日がくるのか不安にもなりました。

##### 感情表現の違いに驚き



情報文化学科2年 遠藤 明日香

4ヶ月間韓国に留学に行ってきた。最初のころの私たちの言語能力は現地ではなにも等しいものでした。先生の言っていることがわからなくて、聞き取るのにも苦労しました。もちろん授業はすべて韓国語なので、質問するのにも大変でした。

宿題の量もとても多く、授業のスピードも速かったので、慣れるまで一苦労でした。生活の面でも、大変でした。韓国は日本の隣の国とはいえ、文化や習慣の面で違うところが多々ありました。中でも一番違うと思ったのが感情の表現の仕方です。日本人は比較的謙虚で消極的だと思われています。また、譲り合いの精神に基づいていると思います。しかし、韓国人は、感情をとてもはっきり表現します。また物事を白黒はっきりさせます。韓国人には、日本人は表に感情を表さないの、何を考えているかわからない、優柔不断だと思われるかもしれません。また、人々との距離が近く、1回話しただけでもとても親しく接してきます。初めはこの感情の表現の違いに、驚きとまどいを感じました。しかし、4カ月という短い期間の中でここまで仲良くなったのは、韓国人の性格のおかげだと思いました。よく行くコンビニやお店のおばさんとも仲良くなりました。また、韓国は年配の人や家族をととても尊敬し、敬う国です。電車の中でも、優先席が開いていても座らない、お年寄りが来たから積極的に席を譲るなどは私たちも見習わなければいけない部分だと思いました。

友達は、韓国語や自分の国の言葉をお互い教えあい、自分の国の文化を知るいい機会になりました。お互い韓国語を話せるようになったという共通の意欲を持っていたので、普段は友達、時にはライバルとして、とてもいい関係が築けました。また、トウミという、韓国の生活を手助けしてくれる人にもお世話になりました。トウミは友達とはまた違った意味で、とても大きな存在でした。トウミは勉強面でのサポー

トだけでなく、いろんなところに連れて行ってくれました。私は自分が外国人になって初めて外国人の大きな変化がよく分かりました。私も、機会があれば、外国人の人がもっと快適に生活できるように、手助けしたいと思うようになりました。

留学して本当によかったと思っています。韓国語の成長だけでなく、人間としても一回り大きく成長できたと思います。今でも、日本、日本人としての視野がありませんでした。留学していろんな国の文化と関わり、国際的な物の考え方の重要性に気づかされました。

##### さらに知識のグローバル化を



情報文化学科2年 羽田 幸恵

西欧建築が立ち並び、そこをさまざまな人種の人々が街を歩いている。その様子に、ロシア、ウラジオストクでの印象は「異世界」という言葉がふさわしいでしょう。この地に4カ月間留学できたことは、言葉に表しきれない最高の幸せと、私たちが学んだ大学JIBVYの外国人学校には、日本人はもちろん韓国人、中国人、アメリカ人、ベトナム人、No.1など簡単な回答しかできなくて、会話をそこから発展させることができませんでした。

私も日本人は、誰でも積極的に会話をすることに慣れていません。自分のせいで相手との会話がうまく合ったり、気まずい雰囲気をつくってしまったらどうしようという心の中で思ってしまったので、それを恐れてしまい、うまく会話ができませんでした。

ですが現地の人は、そんなことは気にせず、何の面識のない人でも誰でも気軽に会話をしていました。その場を見ていて、やはり人を選ばずに会話することは、すごく大切なことだと感じました。私たち日本

ム人などさまざまな人たちが学んでいます。その中でも特に中国人と韓国人は地理的に近いせいか、生徒数に日本人に比べて断然多いです。クラスにも必ず中国人や韓国人がいるので友達になって話していると、次第にその人たちの国についても関心を持つようになりました。そのため、今後はロシアについて知識を深めるとともに、中国や韓国についての授業に積極的に参加していきたい、その人たちの国について身近に感じ取ってみたいと考えています。

世界に目を向けて知識のグローバル化を図る。このような考え方が、なったのもロシアの中でもウラジオストクへの留学ができたからであると思います。今回の留学で満足せず、これを1つのステップとしてさらに知識を深めていきたいと思っています。

##### 文化や習慣にも触れ充実



情報文化学科2年 町屋 みなみ

地球の反対側にある遠い国で生活していたなんて、今でも夢だったような気がします。まだ暑い日本を出発した8月、期待と不安でいっぱいだった私たちが、アメリカはすべてが大きく見えました。初めは日本との時差で眠れない日々が続き、食事やルームメイトとの生活

人も、こういった積極的な会話を習わなくてはいけないと思いました。次に学んだことは、家族の大切さです。私は実家から大学に通っていて、どこかに出かけるにしろ、親に口うるさい言っている感じが、正直おせっかいな感じがした。この夏期セミナーに参加するにしろ、私が一人の子だったため、最初は、かなり反対されました。ですが最後には「お前が本当に行きたいならしょうがない」となんとか承諾してくれました。そして、いざカナダへ行き、夏期セミナーでの最後の週で現地のホームステイをした結果、里親たちからの温かい歓迎を

受け、いろいろなことを気にかけてくれて、家族の温かさに触れた感じがした。そして、親元を離れたということによって、家族がいるというありがたさの大切さを知りました。そんなこんなで、英語などの勉強面以外にも、これから生きていく中で大切になってくる生活面や、忘れていた、いろいろな人への感謝の気持ちなどといった、日本では学べないもの、現地だからこそ学べるもの、さまざまなものを得ることができてよかった。この学んできたことを生かして、これから1日1日悔いの残らないように大切に、そして有意義に大学生活を送っていきたいと思っています。

種別	取得した資格	人数
Ⅰ種	TOEIC 730点	3人
	ロシア語（ロシア語能力検定試験）2級	1人
	中国語（中国語検定試験）2級	1人
	韓国語（韓国語能力試験）5級	1人
	ファイナンシャルプランナー 2級	2人
Ⅱ種	基本情報技術者（旧2種）	6人
	初級システムアドミニストレータ	4人
	中国語検定 3級	10人
	日商簿記 2級	1人
	TOEIC 600点	4人
	ロシア語（ロシア語能力検定試験）3級	1人
	韓国語（韓国語能力試験）4級	1人
	インターネット検定シングルスター	1人
	秘書技能検定 2級	10人
	CGエンジニア検定 2級	1人

試験に挑戦する学生を支援し、大学が指定した各種資格検定試験に合格した学生には奨学金を給付しています。難度の高いⅠ種（5万円授与）には語学能力検定やファイナンシャルプランナーなど8人、Ⅱ種（社会的評価に値するもの2万円授与）には語学のほか情報処理関係、簿記、秘書技能検定などで39人に奨学金が授与されました。取得した資格の内容は表のとおりです。

## 資格取得奨励奨学金 Ⅰ種8人、Ⅱ種39人に授与

資格取得を奨励する奨学金の平成20年度の授与式が1月13日、本校で行われ47人の学生に平山学長から奨学金が授与されました。



## 高校生はじめどなたでもご参加できます！

# OPEN・CAMPUS 2009 オープンキャンパス

開催日 1回目 7/19日 2回目 8/9日 3回目 10/4日  
AM10:00~PM3:30

会場 新潟国際情報大学 本校 新潟市西区みずき野3-1-1 (JR越後赤塚駅下車 徒歩7分)

- 学科およびカリキュラム説明
- 入試情報説明
- 入試問題の傾向と対策
- 模擬講義
- コンピュータ実習
- 語学体験
- 個別入試相談
- 就職相談
- 海外留学相談
- 学生との懇談
- 学内見学
- 保護者向けプログラム



※変更となる場合もありますので事前にご確認ください。

### 参加お申込み

高校の進路指導の先生、もしくは右記までお申込みください。

お問い合わせ先

新潟国際情報大学 広報係

〒950-2292 新潟市西区みずき野3-1-1  
TEL025-239-3111 FAX025-239-3690  
E-mail soudan@nuis.ac.jp

## 平成22年度 入学者選抜試験概要（要約一覧）

入 試 区 分		募 集 人 員		出 願 期 間		試 験 日	試験地	試 験 実 施 教 科 ・ 科 目	合 格 者 発 表 日	入学手続き期間
推 薦 入 学 試 験	高校長推薦 指定校制	情報文化学科 10	30	21年11月 2日(月) ┆ 11月10日(火)	21年11月15日(日)	新潟	本学が指定校と定めた高校長あてに 推薦依頼を行います	21年11月19日(木)	21年11月19日(木) ┆ 12月 3日(木)	
		情報システム学科 20								
	高校長推薦 公募制	情報文化学科 30	65							
		情報システム学科 35								
	高校長推薦 スポーツ	情報文化学科	若干名							
情報システム学科										
社会人入学試験		情報文化学科	若干名			面接・小論文				
		情報システム学科								
一 般 入 学 試 験	前 期	情報文化学科 35	95	22年 1月 5日(火) ┆ 1月21日(木)	22年 2月 2日(火)	新潟 長岡 上越	・国語:国語総合(現代文)・現代文 ・数学:数学I・数学Ⅱ (数学Ⅱは、微分・積分を除く) ・外国語:英語I・英語Ⅱ 上記3教科の中から2教科を試験場で選択	22年 2月 6日(土)	22年 2月 6日(土) ┆ 2月16日(火)	
		情報システム学科 60								
	大学入試 センター試験 利用	情報文化学科 15	35	22年 1月29日(金) ┆ 2月15日(月)	22年1月16日(土)、17日(日) の大学入試センター試験を 受験していること		学科試験を課さず、平成22年度の大学 入試センター試験の成績で判定、全教科 の中から2教科2科目選択 配点:各教科100点 (3科目以上受験した場合は高得点の2 教科2科目を可否判定に使用。国語は 近代以降の文章のみ利用。外国語(英 語)はリスニングを含む。)	22年 2月20日(土)	22年 2月20日(土) ┆ 3月 9日(火)	
		情報システム学科 20								
	後 期	情報文化学科 10	25	22年 2月15日(月) ┆ 3月 2日(火)	22年 3月 9日(火)	新潟	・国語:国語総合(現代文)・現代文 ・数学:数学I・数学Ⅱ (数学Ⅱは、微分・積分を除く) ・外国語:英語I・英語Ⅱ 上記3教科の中から2教科を試験場で選択	22年 3月12日(金)	22年 3月12日(金) ┆ 3月23日(火)	
		情報システム学科 15								

### 本学独自の奨学金制度（給付）

- 学費特別給付奨学金(前期入試受験者対象)授業料全額又は1/2
- 表彰奨学金(2~4年生対象)10万円~30万円
- 海外派遣留学・海外研修奨学金(2年生対象)15万円~23万円
- 資格取得奨励奨学金(全学年対象)Ⅰ種5万円、Ⅱ種2万円
- 学費臨時給付奨学金(全学年対象)授業料・施設設備費の当該期分全額又は1/2
- 学費奨学融資制度奨学金(3・4年生対象)借入利息相当額

◎入試と奨学金の詳細については事務局までお問い合わせください。 TEL025-239-3111 E-mail gakumu@nuis.ac.jp



ます。社会人として生活を送る上では、今までよりも大きな壁が立ちはだかります。大学での経験は、

4年間という期間はあつと過ぎる間に過ぎ去ります。ですから、一日を有意義に過ごしてください。そうすれば数年後に社会へ羽ばたく時、後悔することなく希望を持って新たなスターラインに立つことができそうです。

できたアルバイト先での経験、そして学業の集大成でありさまざまな壁が立ち回った卒業論文、自ら考へ行動することの大切さを学んだ就職活動など、刺激と出会いに満ちた大学生活でした。

社会人として生きていく上で、壁を乗り越えるための予行練習であったように思います。その中で、先生をはじめ、友人や両親に助言やアドバイスを頂き、今日の社会に羽ばたこうとする自分がいるのだと思います。苦勞や困難に耐え、

もありました。壁をいくつも乗り越えることで、多少の苦労ではへこたれない強さを培えるということを4年間という時間が教えてくれました。

そんな厳しい  
状況で、今ま  
でに得た経験  
がいかに通用

現在までの自分を振り返ると、ある程度うまくやってきた。それは客観的ではなく主観的に。そして、あまり人がやらないことも好奇心をもって行動に移すこともあった。具体的にいえば、ヒッチハイクを一人でやったこと。目標は九州の博多。理由はくだらない、長浜ラーメンを食べたくて。その時には、カナダでのルームメイトだった熊本大学の友達にも、カナダから帰ってきて2年ぶりに再会することができた。しかし、ヒッチハイクは自分の力ではなかった。他人の力である。

これから仕事が始まる。そして、「責任」という大きな2文字が私にプレッシャーをかけ、逆にその2文字が私をワクワクさせる。今後は自分に厳しくして、自分を成長させていかなければ、いつクビになるかわからない。

そんな厳しい状況で、今までに得た経験がいかに通用

システム学科 大島 大尚

生きている。学ぶので、挑戦することを恐れず、前向きに人生を充実したものにつくり上げ、そして私は幸になる。

そしてこれからの抱負ですが、私は社会福祉士を目指しています。いま何が問題なのか。何が必要なのか。相談者の声を通して。

ば、それは世の中のすべてが自分と何らかのかかわりを持つているということです。残念ですが、政治や経済、また環境面などで不利な立場に立たされている人々が多く存在しています。私たちの生活空間からは見えない「真実」を知ることが、とても大切なことだと痛感しま

私の今後につながる基礎を築くことができた本字と、教員の皆さま、そして忘れていた青春を思い出させてくれた仲間たち。これらすべてが本字での思い出であり、一生の財産です。

「人生って難しい。そして楽しい」——大學生生活の中で、私がよく思ったことです。

楽しさが潜んでいるということを知りました。その楽しさを見つけた時、成

楽しさが潜んでいる  
ということを知りま  
した。その楽しさを  
見つけられた時、成  
長の速度はグンとあ

や充実感は大  
幅にアップし  
ました。

難しさの中  
に楽しさもある  
ということを知  
っていただい  
たから先ほど  
こんなにキツイ

ました。これらの経験は、私の人生に大きな転機を与えてくれました。出会った人々から、たくさんさんの刺激を受けることで、それまでの自分の考えや行動が大きく変わっていきました。こうした経験を通して、難しさの中にも

## アメリカ留学

とがあらうと、大抵のことはポジティブに乗り越えられそうな気がします。

社会人という新たな世界に入っていくわけですが、そこでの難しさや楽しさを知り、乗り越え、よりよい人生を送っていきなと思います。

もつといい活動  
になっただろう  
に…、自分は間  
違っているんじゃないか…と悩み、  
また自分の力の  
なさや、組織を  
まとめる難しさ  
を痛感しました。

同時にこのような  
活動を進めるには  
具体的に計画し、確  
実に実行する強い気  
持ちが必要だとい

その意味で折れることなく自分の意思を通し続けた4年間は本当に充実していました。この4年間でもらったもの

はたくさんあります。これからはもう一方ではなくて、人や社会に恩返しをしていきたいと考えています。社会に出ることは期待も不安もありますが、一人の市民として、より良い社会づくりに参加できるのを今は楽しみにしています。

## 学長告辞

新潟国際情報大学長  
平山 征夫

## 社会人として信頼

## される人間になれ

本日、私たち新潟国際情報大学は12回目の卒業式を迎えました。卒業生の皆さん、ご卒業おめでとう。心よりお祝い申し上げます。

ここに多数のご来賓の方々、ご父母の皆さんにご臨席賜り、このように盛大に卒業式を挙行できまことは、私ども大学関係者にとりまして大きな喜びであります。それ以上にこのめでたい日を迎えられました卒業生の皆さん自身、そしてご父母の皆様のお喜びはいかばかりかと思えます。皆様に対しまして、新潟国際情報大学の役員、教職員一同を代表しまして心から祝福申し上げます。

高校を卒業して希望を胸に本学に入学してから4年が経過しました。その間、みずき野での学園生活では色々なことがあったと思います。今、皆さんの胸には多くの思い出が去来していることと思います。しかし、大学時代の勉学、クラブ活動、友との友情などは単なる良い思い出としてだけではなく、皆さんの成長に大きな役割を果たしてくれたことに将来気がつくでしょう。その意味でも本学での経験、思い出はこれからも大切にしてください。

この春、みずき野の学園を巣立ってゆく卒業生は、情報文化学科114名、情報システム学科167名、合わせて281名です。このように若さ溢れる前途有望な若者を、ふるさと新潟をはじめとする地域社会に送り出せますことは、大学人としてこの上ない大きな喜びであります。卒業生の

皆さんは、自分自身の希望とご父母や社会からの期待を感じながら今日の式を迎えられたことと思います。人生の新たな出発、社会人としての門出に際し学長として贈る言葉を述べたいと思います。

近年、本県では平成16年、19年と地震など大きな災害に遭遇しました。そして昨年には世界的なバブル崩壊から百年に一度という経済的変動が発生しました。皆さんの大学生活も必ずしも平坦なものではなかったことと思います。講義、語学演習などを次々にマスターしていくことは容易なことではなかったでしょう。その間、クラブ活動、大学行事などもあって大変だったこともあったでしょう。でもそれらを乗り越え卒業資格を獲得されたことは、これからの人生に大きな自信になることでしょう。先ほども申し上げたように苦労したから自らの力になり、良い思い出にもなるのでしよう。このみずき野のキャンパスで過ごした青春の日々の夢を、皆さんのこれからの社会人として

## 理事長祝辞

学校法人 新潟平成学院理事長  
武藤 輝一自らの人生を  
明るく豊かなものに

新潟国際情報大学第12回卒業生の皆さん、ご卒業おめでとう。ごさいます。

ご卒業を喜び、社会への船出の希望に満ちている皆さんの面持ちは、私には大変眩しく見えます。ところで、4年前の皆さんの入学式の際には、何事にも自らの意思を持ち、自ら発言し、実行し、

での人生の夢に繋げてください。

そのためには、何よりもまず大学で学んだことをベースに社会人として必要な自立心や自主性を確立しなければなりません。大学で身につけた専門知識に磨きをかけ国際・情報のプロとして実社会で活躍するベースを確立するとともに、仕事上のみならず社会人として判断するに際して、自らの考えで結論を出し、人々に説明し理解してもらう力をつけなければなりません。その際には、自らの判断が正しいか、適切であるか、相手に対する説明に説得力があるか、などが問われます。こうした判断・説明・理解という行為を通じて社会人として多くの人たちから信頼される人間になることが大切です。

広く人々に信頼される判断・行動力を身につけるには物事の本質を正しく見極めることが重要になります。そして問題の本質を見抜き、理解したうえで深い洞察力で先行きを考え判断することが極めて重要になります。正しい判断をすることは、仕事を上でも人生を送る上でも大切ですが、それ以上に重要なことはそうすることで多くの人々に信頼される人間になるということです。信頼

自らの価値観を持ち、自らの発言、行動に責任を持つことを、本学での学生生活の規範としてほしいと申しました。おそらく皆さんの一人ひとりにこの心構えが築かれていることと思います。この心構えがあれば、これからの人生で自らを嘆くことも無く、意義ある人生を送ることができるでしょう。期待しております。

そして、これからは漫然とした生活を送るのではなく、生涯学習と申さないまでも、少しずつでも自らの知識や技能を高めるよう心掛けてください。自主性や積極性も無く、知識や技能に進歩が無く、勤務先や自分の仕事で後輩の後塵を拝することにならぬよう、自らの人生を明るく豊かなものとするよう心掛けてください。老婆心ながら皆さんの父親のつもりで申し上げます。

桜の花咲く4月には、皆さんは一社会人として将来への期待に溢れ、緊張した面持ちで活躍していることと存じます。

あらためて皆さんのご卒業を心からお祝い申し上げますと共に、前途に幸多かれと祈り、皆さんを送る言葉と致します。

される人間になることは、あらゆる人生の目的になるべきことだと思います。私は知事という役職をまっとうしようとした時、そのことを強く感じました。

もうひとつ、社会人になる皆さんに私が大切にしていた心構えをお話します。それは「大いなる人」になるということです。今から60年も前の小学校6年生の夏休みに、それまで見たこともないような大きな入道雲に会いました。じっと見ていたら少年の私に雲が何か語りかけているように感じました。何を言っていたのだろうとずっと考えていました。それから40年もたつて解答に出会いました。それはある詩に出会ったからです。「広い野原に突如巨人のような雲が現れ、少年に厳しくも言った。『子よ、大いなる人になれ』と。雲はあつという間に風で消えてしまつたけれど、50歳を過ぎた今も啓示となつて残っている」という詩です。この詩にある「大いなる人になれ」という言葉を見たとき、あの少年の時、雲が言っていたことはこれだったのだと確信しました。でも「大いなる人」という意味はなかなか解釈が難しく、この詩に出会ってからずっと考えていますが、いまだこれだという結論には至らずにいます。でも少なくとも「心の広い愛情いっぱいの人になれ」「他人に優しい人になれ」と言っているのではないかと考えています。そうだとすれば、皆さんにも「雲の教え」を門出に贈りたいと思います。私はもっと早く「大いなる人になる」ことを人生の目標にできればよかったと思っていますが、皆さんは私の話を参考に社会人になるのを機に、人生の目標にされるなら私にとってこれ以上ない光栄です。心の広い人になることは、また先ほど申し上げた「人々から信頼される人間になる」ことに強く通じています。大いなる心が大きいほど多くの人から信頼されることになる、と信じています。

社会人としての人生は、決して平坦ではないでしょう。むしろ茨の道だらけかもしれません。皆さんが生きているこれからの世界は、経済的には私の時代よりもはるかに豊かになっていますが、「自己を確立し、自分のことは極力自己責任で行う」「でも困っている人がいればお互い助け合う」という人間社会の基本ルールが忘れられ、勝ち負けにこだわる、より生きにくい競争社会のように私には見えます。だからこそ人間的に生きること、



信頼される人になることの大切さを忘れないでほしいのです。どうか、「人間として生きるには何が一番大切な」をいつも自問自答してください。そこには雲が悠々と流れ、皆さんに語りかけているはずです。

社会人としてもうひとつ自己管理しなければならぬことがあります。それは心身の健康管理です。競争社会はストレス社会です。心身の健康と言ったのは現代人の弱点が精神の健康にあるからです。精神の安定、健康を保つには強い信念と課題を乗り越える確かな問題解決能力が大切です。このことは最初に申し上げました。申し上げた3つのことがお互いに関連し、相乗効果として皆さんの人生を支えてくれるはずです。どうか大きな望みの横に今申し上げた「生き方の道しるべ」を置いて、時々ぞいてください。皆さんの前途は洋々です。でも船を運航するキャプテンは皆さん自

## 卒業生答辞



情報システム学科 (総代)

関根 毅

## 広い視野を身に付け成長 社会に貢献できる人間に

寒い冬もようやく終わりを迎え、新しい季節が到来する時期となりました。キャンパスにも暖かい風が吹き込まれ、生物が躍動を始めるのを目にする中で、今年も、私たちに一つの節目と新しい生活の始まりを告げるために、春が息吹き始めたことを実感しています。

本日は私たち卒業生のために、このような盛大な卒業式を挙げていただき、誠にありがとうございます。また、ご来賓の皆様、並びに関係者の皆様におかれましては、ご多忙の中ご出席していただき、心より御礼申し上げます。本日、私を含め281名が卒業することとなりました。

身です。舵をしっかり握って、目標を見定め、明日から大海原に船出してください。

本学の卒業生として、これから大学に愛着を持っていてください。そしてこれからは先輩として後輩への温かい支援をお願いします。四季のはっきりしている新潟では、浅い春の訪れは、旅立ちの時、別れの時でもあります。でも皆さんとの別れから暫くして大学の校庭に桜が咲き乱れる頃には、皆さんの後輩が入学してきます。親から子へ、先輩から後輩へ、色々なバトンタッチで世の中は続いていきます。地域社会の良き後継者としてふるさと新潟にも貢献ください。そのため社会人としてだけでなく、地域人としてのバトンタッチにも心がけてください。そして皆さんが故郷の発展にも活躍くださることを期待したいと思います。皆さんの卒業を心からお祝い申し上げますとともに、前途多きことをお祈りし、私の皆さんへの門出にあたっての贈る言葉とします。

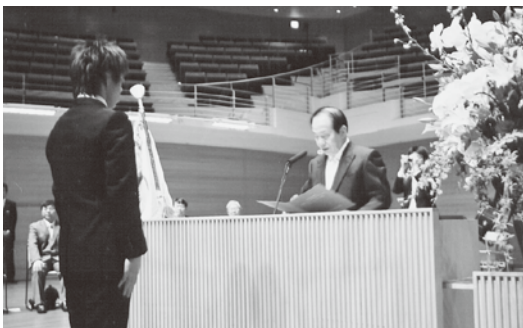
思い起こせば4年前、私たちは新潟国際情報大学に希望と夢に胸を膨らませて入学してきました。入学当初は、高校までとは違う大学生活に若干の不安もあったものの、仲間たちとともに講義やゼミ・サークル活動に励む中で、次第に不安を飛び超え、それぞれが自ら新しい目標に向かって突き進み始めました。大学生生活4年間のうちでは、先生方から講義やゼミを通して熱心に指導・ご教示をいただき、国際化・情報化の現代に必要な専門的知識を幅広く身に付けることができました。また、多くの人々の支えがあったことで、私たちは有意義で充実した4年間を送り、かけがえのない成長の礎を築き、今日に至ることができました。私は、情報システム学科にて、4年間勉強して参りました。中学生のときに、初めてコンピュータに触れました。それ以来ずっと興味を持ち続けた私は、高校で進路選択の岐路に立たされたとき、新潟国際情報大学でもっと情報について学びたいと思い、受験・入学しました。大学ではコンピュータという狭い枠組みではなく、情報システムというはるかに大きな枠組みでの勉強が待っていました。当初は学ぶことがすべて新しいことばかりで、理解することに必死でした。しかし、先生方の机上の理論に終わらない実践を伴った講義はとても興味・関心をそそり、気づいたときは心を躍らせながら夢中になっていました。そして、

次第にそれぞれの講義の内容がパズルのピースのように組み合わさり、私に情報システムの世界を開いてくれました。

大学では、情報システムを構築するために必要な技術にとどまらず、経営や統計・語学も併せて学ぶことで、多角的に物事を考える視点と一つの分野に捉われない広い視野を身につけることができました。それを生かし、ゼミに配属された後は、機械的な機能にとらわれず、オンラインシミュレーションと人間のコミュニケーションの結びつきを考え、卒業研究として昇華させました。また、学問にとどまらず、勉強に対する姿勢やエンジニアとしての考えなど、人生についても多くのことを学びました。講義で学び、演習で実践し、ゼミで深めるという中で、私自身、大きく成長したと思います。

今日を節目に、私たちはまた新しい道にそれぞれ歩んでいきます。その道は決して平坦なものばかりではないですが、大学4年間で学んだ知識、得た経験を生かし、再び自分の新しい目標に向かって突き進んでいきます。そして、新潟国際情報大学の卒業生であることに誇りを持ち、社会に貢献できる人間を目指して、さらなる学習と修練を積んで参ります。

最後に、熱意のこもった指導により、多くの教養と専門的知識・技術を私たちに授け、その可能性を広げてくださった先生方、日々の大学生活か



## 平成20年度 JABEE認定プログラム

日本技術者教育認定機構(JABEE)の情報システム技術プログラムの修了証授与式が3月19日午前、卒業式に先立って新潟市民芸術文化会館(りゅーとびあ)コンサートホールで行われました。平成20年度の修了者は21人で、当日出席した19人に修了証書が平山学長から授与されました。

## 21人が修了証書を取得

本学は同認定制度を前年度に国内29番目、県内では初めて取得、情報システム学科の27人の学生が認定プログラムの修了証書を取得しています。

修了生は、文部科学省令で定める技術士資格1次試験免除の優遇措置が受けられ、「将来情報システムを開発する技術者になるために必要な教育を受けている」という、社会的な評価が与えられます。

## 祝電

新潟県知事	泉田 裕彦
新潟市長	篠田 昭
日本私立大学協会長	大沼 淳
上越教育大学学長	渡邊 隆
長岡技術科学大学学長	小島 陽
長岡造形大学学長	上山 良子
新潟産業大学学長	広川 俊男
新潟文芸堂	小島 和夫
代表取締役社長	廣田 幹人
新潟総合警備保障(株)	福井 文弘
代表取締役社長	相原 貞則
(株)三越新潟店 店長	樋口 清
(株)総研システム	遠藤 佳彦
代表取締役社長	
(株)ホテル清風苑 代表取締役	
新潟日産モーター(株)	
代表取締役社長	

ら人生の岐路となる就職活動まで、私たちの素晴らしい行動環境を整えてくださった職員の皆様、大学進学という自分のわがままとその4年間を支えてくれた家族、そして時には喧嘩し、時には笑い、喜び、競い合った仲間たち、すべて人たちに心からの感謝とともに御礼申し上げます。今後、皆様のいっそうのご活躍とご健闘をお祈りし、新潟国際情報大学のさらなる発展を願ひ、私の答辞とさせていただきます。



# “大いなる人になれ” 281人が船出

## 平成20年度 卒業生おめでとう

平成20年度第12回卒業式が3月19日、新潟市民芸術文化会館（りゅーとびあ）コンサートホールで行われ、281人（情報文化学科114人、情報システム学科167人）の卒業生が大きな希望を胸に社会に巣立って行きました。

式典はまず学位記授与から始まり、晴れがましく卒業生一人ひとりが名前を呼ばれ、両学科代表に賞状と記念品が平山征夫学長から贈られました。平山学長は告辞で「みずき野のキャンパスで学んだことをベースに、自主自立して物事の本質を見極め信頼される社会人になってほしい。心広く愛情いっぱい人に優しい“大いなる人”になれ。キャプテンは皆さん自身です。自信を持って大海原に船出してください」と前途を祝福しました。

これに対し、卒業生を代表して情報システム学科の関根毅さんが「国際化情報化の現代に必要な専門的な知識を身に付け、人生についても多くを学び成長することができた。新しい目標に向かって突き進み、社会に貢献したいと思います」と力強く答辞を述べました。

最後に吹奏楽部の演奏で校歌「空がある風がある光がある」を卒業生と、壇上では平山学長自らも合唱団に加わり教職員も一緒に輪になって合唱し、温かい大きな拍手のうちに記念式典を終了しました。

恒例の祝賀会が同日夕、ANAクラウンホテル新潟で開かれました。晴れの装いで笑顔いっぱいの卒業生たち。ゼミの教職員などを取り囲んで握手と乾杯を繰り返し、互いに門出を祝い将来の活躍を激励し合いました。



### 第12回までの卒業生は合計3,532人に

年 度	卒業者数	情報文化学科	情報システム学科
平成9年度(第 1回)	295人	116人	179人
10年度(第 2回)	290人	124人	166人
11年度(第 3回)	303人	126人	177人
12年度(第 4回)	294人	114人	180人
13年度(第 5回)	291人	118人	173人
14年度(第 6回)	277人	111人	166人
15年度(第 7回)	314人	118人	196人
16年度(第 8回)	294人	115人	179人
17年度(第 9回)	299人	121人	178人
18年度(第10回)	278人	110人	168人
19年度(第11回)	312人	126人	186人
20年度(第12回)	285人	117人	168人
合 計	3,532人	1,416人	2,116人

※9月卒業生含む

### 平成20年度 卒業生特別表彰

#### 学長賞(学業成績優秀者)

情報システム学科(総代) 関根 毅  
情報文化学科 玉井奈緒美

#### 学術賞

情報文化学科 滝沢 亮太

#### 課外活動賞

◆エコサクル NUISE  
情報文化学科

田中 由美(代表) 玉井奈緒美  
藤田 絢子 細田千佳子  
石塚 武志 猪俣 慧子

深刻化する地球環境問題を自分たちの問題と捉え、大学のエコキャンパス化を目指すエコサクルNUISEを立ち上げ、過去10年間の大学の電気使用量などを調査分析し、それを紅翔祭等で一般の方や学生たちに報告した。また、本学学生の環境意識調査などを実施した。

#### 国際交流賞

情報文化学科 石塚 武志(代表)

情報システム学科 箕輪 健太

情報システム学科 長瀬 聡

国際交流インストラクターとしての活動をきっかけとして、本学での授業や課外活動を通じて身につけた国際社会に関する知識を活かして、県国際交流協会や新潟国際ボランティアセンターをはじめとして、新潟県の国際交流に関連する諸組織の活動に積極的に参加することで、県の国際交流の活性化に寄与した。